

科目名	臨床治療学実習Ⅱ（作業療法）	担当教員	佐々木努※ 山田恭平※ 三宅環※ 久保勝幸※ 松田竜幸※ 佐藤拓也※ 榮志津江※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	前期	8単位	実習

科目概要	臨床治療学実習Ⅱでは、実習施設において臨床実習指導者のもと、対象者に対する作業療法評価および治療実施までの一連の過程を実習する。対象者と適切に対応し、リスク管理を的確に行いつつ、①評価から治療の遂行までを行うこと、②基本的な作業療法評価・治療が実施できること、③一連の過程を適切に記録し、報告することが目標となる。これらにより、対象者の障害を問題解決する能力を実践を通して養う。
学習目標	① 評価から治療までの一連の過程を実施する。 ② 基本的な作業療法評価・治療が実施できる。 ③ 一連の過程を適切に記録し、報告する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	臨床実習 1	実習施設における実習（第1週）	上記学習目標①～③	臨床実習 指導者
2	臨床実習 2	実習施設における実習（第2週）	〃	臨床実習 指導者
3	臨床実習 3	実習施設における実習（第3週）	〃	臨床実習 指導者
4	臨床実習 4	実習施設における実習（第4週）	〃	臨床実習 指導者
5	臨床実習 5	実習施設における実習（第5週）	〃	臨床実習 指導者
6	臨床実習 6	実習施設における実習（第6週）	〃	臨床実習 指導者
7	臨床実習 7	実習施設における実習（第7週）	〃	臨床実習 指導者
8	臨床実習 8	実習施設における実習（第8週）	〃	臨床実習 指導者
評価方法		臨床治療学実習Ⅱ評価表、実習報告会の内容		
教科図書		なし		
参考図書		なし		
学習の準備		臨床治療学実習Ⅱに臨むにあたって、これまでの学習内容を理解しておくこと。		
オフィスアワー		随時		

担当教員欄に※印を
附した教員の実務経
験

民間病院において、臨床実習担当の指導・監督の下、作業療法の実務を見学・体験させる。